

<b>担当教員授業題目</b>		地質調査基礎演習（茨城大学）				<b>担当教員</b>	安藤寿男・岡田 誠・ 小荒井衛・長谷川健 藤縄明彦
<b>英文授業名</b>		Basic exercise for geological field survey					
<b>単位数</b>	2	<b>講義期間</b>	前期	<b>曜日・時限</b>	集中	<b>対象学年</b>	2
<b>授業形態</b>	実習	<b>備考</b>	4泊5日の合宿				
<b>(1) 授業のねらい</b> 野外地質科学の前提となるフィールドの歩き方、露頭観察・記載の仕方を実践的に体得し、地質ルートマップ・地質柱状図の作成能力を培う。				2～4日目：日中、作成したルートマップを元に、ルート沿いの地質調査（露頭の観察・記載実習）を行う。夕食後、研修室にて地質ルートマップの作成および地質柱状図の作成を行う。			
<b>(2) 授業の概要</b> 地質調査用具の使用法、歩測による簡易測量と地質ルートマップ作成法、地質柱状図の作成法を実践的に学び、基礎的な地質調査能力の修得を図る。				5日目：午前中、引き続き地質ルートマップ、地質柱状図の作成を行い、昼食前に地質ルートマップ、地質柱状図、フィールドノートを提出。			
<b>(3) 授業計画</b> ・ガイダンス：授業の進め方および地質調査用具の使用法の解説（実習直前に実施）。 ・野外実習： 1日目：日中、調査ルート簡易測量（歩測＋オリエンテーリングコンパス使用）を行い、ルートマップの作成を行う。夕食後、研修室にてルートマップを完成させる。				<b>(4) 成績評価の方法</b> 提出物（地質ルートマップ、地質柱状図、フィールドノート）で評価する。			
				<b>(5) 履修上の注意</b> 9月中・下旬、茨城大学大子研修所を利用し、4泊5日で野外実習を行う。研修所滞在費（宿泊費・食費）および現地での移動のための交通費は自己負担（合計約1万円程度）である。			
				<b>(6) 質問、相談への対応</b> 事前に必要な準備や持ち物等を含め質問・相談は、連絡先アドレス <makoto.okada.sci@vc.ibaraki.ac.jp>（岡田 誠）で随時受け付けます。			
<b>【教科書】</b> フィールドジオロジー入門（天野一男・秋山雅彦著；共立出版）							
<b>【参考書】</b>							